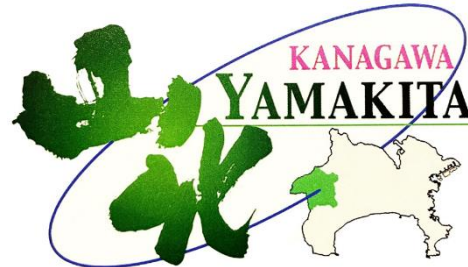


# 校長室の窓

## 陸上競技大会を終えて



予備日開催となった、今年の陸上競技大会。

会場となった、城山競技場は、前日の雨の影響もほとんどなくコンディションは上々、さらに、懸念された暑さもそれほど感じることもなく、時折吹く清々しい風もあって気持ち良い一日となりました。今、思い返しても皆さんの生き生きとした表情がよみがえります。

昨年開催できなかったこともあり、1、2年生にとっては初めての陸上競技大会となりました。コロナ対策のため、手指、用具は消毒、応援は拍手、食事も黙食、競技中以外はマスクの着用と制限の多い中での開催でしたが今回開催できたことをまずは皆さんとともに喜びたいと思います。

陸上競技大会は公開されておりませんが、保護者の皆様方には、このことについてご理解、ご協力いただきましたこと、感謝申し上げます。1年生の成長ぶり、2年生の意識の向上、3年生のリーダーシップ。生徒たちは、しっかりと、「スポーツ」を楽しみ、体験し、学習しました。

この陸上競技大会は、山北高校にとって、50年の歴史を持つ大切な大会です。これまでの歴代の大会記録は、最も古いもので「男子砲丸投・13m05」「3000メートル・8分51秒2」「女子100メートル・12秒3」など、昭和57年の記録が3つありますが、これらを含み、全体の大会記録を見ても、単一校の記録としては大いに誇れるものばかりです。

今年、コロナ禍の中ではありますが、私は、なんとかしてこの大会を開催したいと強く思いました。職員の転勤が多く、2年ぶりとなる大会の実施は難しい部分もありましたが、保健体育科の職員を中心に生徒も運営に加わってこの困難を乗り越えられたことは生徒にとっても大きな経験になったと思います。それは、前述した記録に挑戦する生徒ばかりではなく、大会に参加した生徒一人ひとりが、自分の中のベストを出すために真剣に取り組み、それをほかの生徒たちが心から応援する時間を共有できたことにつながります。まさに、山北高校ならではのスポーツへの態度も含むレベルの高さであったと思います。

**「面白い」と思うこと**、生徒の皆さんは見つけられたでしょうか。

**「着実に努力」した実感の瞬間**、生徒の皆さんは経験できたでしょうか。

**「優しく、強く」**生徒の皆さんは周囲の人に気配りができましたか。感謝の気持ちは表せましたか。そして、周りや自分を守り成長させている、自分自身や友人の強さも意識できたでしょうか。

山北高校が生徒皆さんの成長のステージであることに誇りを感じます。